

入選

私の先生

熊本県 本渡南小学校 五年 岩永和夏

「今日、学校に行ききゅうりを見てみると、元気になっていたんだ。きのうとは何か違うんだよね。」と、学校から帰った私は、母にそう話した。

私のクラスでは、みんなで野菜を育てている。初めはベランダできゅうり、なす、オクラ、ミニトマト、ピーマンを育てていた。

私は野菜を育てることが好きだ。そして私は、きゅうりを育てることになった。みんなで水やりをして成長するのを楽しみにしていた。ところが、きゅうり、なす、オクラ、ミニトマトが思うように育たなかった。そこで、私のクラスではそれらを広い花壇へ植えかえることにした。数日たつと、ほとんどの野菜は元気になっていた。

私は、野菜を毎日観察している。そのため、きゅうりがあまり育っていないことに気づいていた。しかしある日の朝、きゅうりを見てみると、きのうより明らかに元気になっていた。一日でこんなに元気になるのかなと考えた。けれども、一日でここまで元気になるとは思えなかった。そこで私はこう考えた。(先生が植えかえたのかもしれない) と。このことを帰って母に伝えた。私が母に、

「先生が植えかえたのかな。」

と言うと、

「そうかもしれないね。先生だったら、きゅうりを育てているグループが悲しまないように、そっと植えかえたのかもしれないね。」

と母が言った。

「私もそう思う。」

と言うと、私と母はおたがい顔を見合わせてにっこりほほえんだ。母は私に言った。

「先生に聞いてみたの。」

「聞いてないよ。だって、先生のやさしさのような気がして、聞かない方がいい感じがした。」

「ふーん。おたがいやさしいね。」

と、二人で話したあと、なんだか胸の辺りが温かくなった。きっと先生はきゅうりを植えかえたことなんか、私たちには言わないだろう。実がなるまでは、ないしょにしているだろう。私たちが下校した後に、植えかえたのか。または、早く来て植えかえたのか。私はいろいろなことを考えていた。母の話によれば、やはり先生が植えかえたことがわかった。やっぱりそうだったのかと、私は思った。

思いやりとは、相手の気持ちを考え気づかうことだ。それに対して、親切とは、思いやりを行動に移すことだと私は考える。この「親切」とは、非常に勇気がいる行動だと思う。私は、思いやりをまだ行動に移すことができずにいる。これができる先生は本当にすごい。やっぱり先生は親切だなと思う。先生は、きゅうりグループの生徒を悲しませないようにと、植えかえてくれたのだろう。先生の心づかいが温かい気持ちにさせてくれる。

先生、ありがとう。私も、相手のことを思ったり、考えて行動できる人になりたい。